



平成 30 年 5 月 28 日  
 (一社) 全国漁業就業者確保育成センター  
 担当： 馬上  
 電話： 03-5545-1617  
 メール： info@ryoushi.jp

**“ここには、自分らしく生きる道がきっとある。”**

**漁師の仕事がまるごとわかる就業相談会 in 福岡・東京・大阪**

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区)では、漁業や漁師の魅力を知らせてもらうとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取組の一環として、毎年度「漁業就業支援フェア」を開催しております。

このたび、2018 年度フェアとして、「漁業就業支援フェア 2018 『漁師の仕事！まるごとイベント』」を **福岡(6月16日)**、**東京(7月7日)**、**大阪(7月21日)** で開催します。

**【開催概要】**

開催地	開催日時	会場
福岡	6月16日(土)12:30~16:00 (受付12:00~15:30)	西鉄ホール (福岡市中央区天神 2-11-3 ソリアステージビル 6F)
東京	7月7日(土)12:30~16:00 (受付12:00~15:30)	アキバ・スクエア (東京都千代田区外神田 4-14-1 秋葉原 UDX 2F)
大阪	7月21日(土)12:30~16:00 (受付12:00~15:30)	大阪マーチャンドイズマート (OMMビル) 2階A・Bホール (大阪市中央区大手前 1-7-31)

- ◇参加条件:漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。  
 未経験者・家族連れ歓迎/参加費無料/事前の参加申込み不要(当日会場へ来場ください)  
 /履歴書不要 /服装自由 /入退場自由  
 ◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化により、次世代の担い手が不足しています。このような状況の中、ライフスタイルの多様化などにより、若い世代の働き方や暮らし方が変化しており、漁業就業においても漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。また、最近では高校生や大学生が就職活動の一環として多数来場しています。本フェアは、「漁師になりたい・興味がある」人と「新たな担い手を求める」漁協や漁業会社が出会う場として年々注目を集めています。これまでに、フェア来場がきっかけとなり漁師への第一歩を踏み出した人や漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得て、その後漁業就業が選択肢のひとつとなった人もいます。こうした流れを今後につなげ、将来の漁業の担い手確保に寄与していくため、2018年度は、福岡、東京、大阪の3都市でフェアを開催します。

**【問合せ先】**

- ◇(一社)全国漁業就業者確保育成センター 電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00  
 ◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>  
 ◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

## ■「漁業就業支援フェア 2018」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果をもとに、フェア終了後、出展団体とマッチングして就業へ一歩近づけるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について学べる「ガイダンスコーナー」の他、将来の就職先のひとつに漁業を考えている学生などビギナー向けの「セミナー・相談コーナー」、漁具等の展示物を見て触って漁業を体感する「展示コーナー」などを予定しています。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスであり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



漁業就業支援フェア 2018 ポスターカット

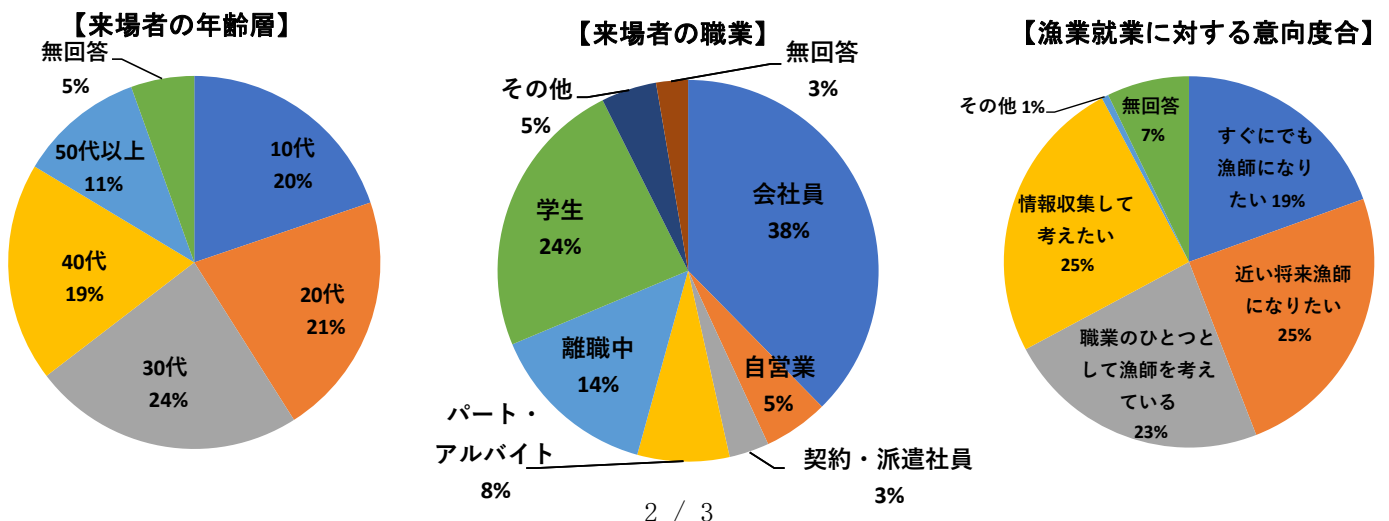
## ■注目集める「漁業就業支援フェア」

昨年の「漁業就業支援フェア 2017」は4都市で開催し、760名を超える来場者がありました。なかでも東京会場では350名以上の方が来場し、熱心に情報収集をする姿が見られるなど、漁業就業への関心の高さを証明する結果となりました。

### (参考)漁業就業支援フェア 2017の実績

エリア	来場者 * 同伴者除く	出展団体数
福岡	121人	45団体
東京	356人	79団体
仙台	48人	21団体
大阪	244人	79団体

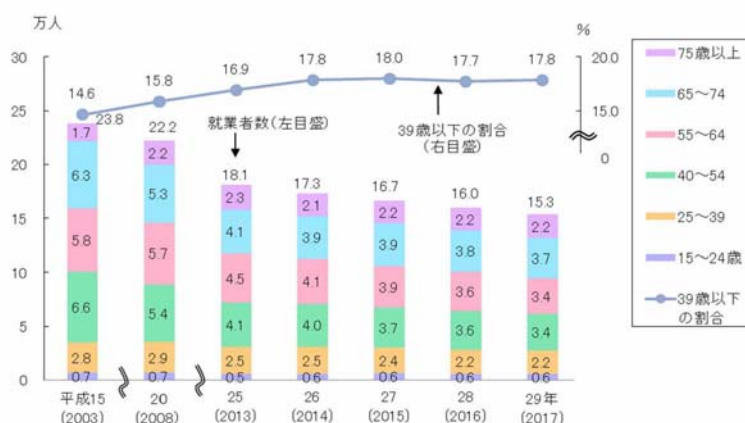
<フェアの来場者像> \* 漁業就業支援フェア 2017(福岡・東京・大阪・仙台)の実績より



## ■漁業就業者数の動向

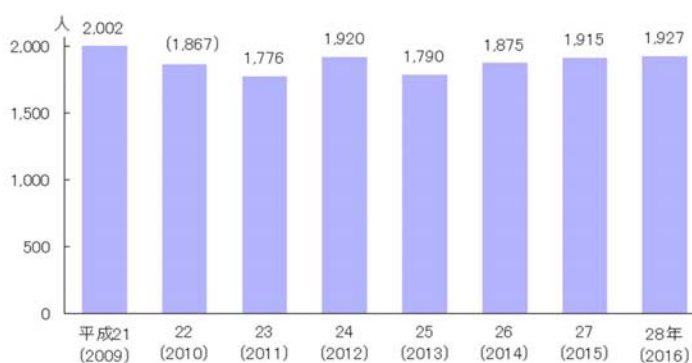
平成15年に約24万人であった漁業就業者数は、平成29年には約15万人へと減少しています。一方、支援施策などにより、新規で就業する人は、平成21年以降おおむね横ばいで推移し、平成28年には1,927人が就業しています。これらの新規就業者は比較的若い世代が多く、40歳未満が約7割を占めています。こうした近年の動向を受け継ぎ、日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどがが必要です。

### 漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」(平成15(2003)年、平成20(2008)年及び平成25(2013)年)及び「漁業就業動向調査」(平成26(2014)～29(2017)年)  
 注：1)「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者。  
 2)平成20(2008)年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市町村に居住している者を含んでおり、平成15(2003)年とは連続しない。

### 新規漁業就業者数の推移



資料：都道府県が実施している新規就業者に関する調査から水産庁で推計  
 注：平成22(2010)年は、東日本大震災により、岩手県、宮城県及び福島県の調査が実施できなかったため、平成21(2009)年の新規就業者数を基に、3県分除いた全国のすう勢から推測した値を用いた。

### 当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当：馬上

電話：03-5545-1617(平日 10:00～17:00(土・日・祝日除く)) e-mail info@ryoushi.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushi.jp> 【twitter】@ryoushi\_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。